

# 家庭教育 なう No.3



2019年5月発行  
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村  
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111 (内線 209)  
 FAX 0573-25-7129  
 MAIL c02042@govt.pref.gifu.jp

## 家庭教育学級リーダー研修会 ありがとうございました!

家庭教育学級リーダー研修会 研修テーマ  
 「学び」のある家庭教育学級を目指して ～学んだ分だけ子育ては楽しくなる～

研修会には、乳幼児期・中学校・小学校の3日間で319名の方が参加され、活発に意見交流が行われました。アンケートでは、「他地域の様子が交流できてとても参考になった」「交流会の雰囲気がよく、楽しかった」「活動を進めていく上での不安がなくなった」等、意欲的な感想がたくさん寄せられました。ありがとうございました。

また、来年度の研修会につながる貴重なご意見を多数いただきました。参加しやすく、充実した研修会になるよう、さらに検討し工夫をしていきたいと思えます。

研修会の「学び」を、是非、今年度の活動に活かしてってください。

### アンケートから

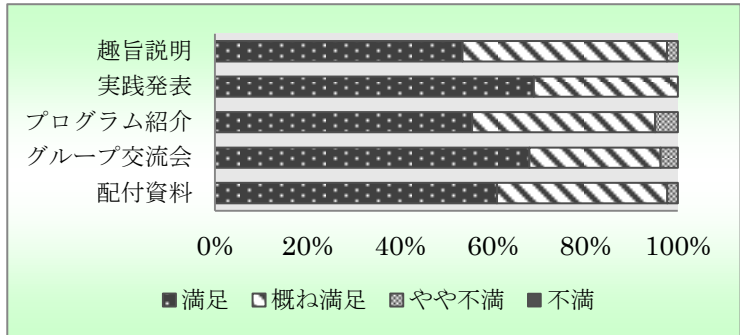


### 乳幼児期

令和元年5月14日(火) 10:00~12:00 恵那総合庁舎

## 実践発表 恵那市乳幼児期家庭教育学級

- 【開催時期】 今の時期でよい 90%  
 違う時期がよい 10%
- 【時間帯】 午前 78% 午後 7%  
 どちらでも 15%



- 【県の趣旨説明】
  - ・県全体で家庭教育に取り組んでいることを知り、とても勉強になった。
  - ・家庭教育の内容がとても参考になった。

- 【実践発表】
  - ・人形やグッズを使ってのお話で、楽しく、引き付けられた。
  - ・お母さんが笑顔になれる場所があるという安心感が大切と思う。
  - ・子どもと共に行える活動例が参考になった。

- 【家庭教育プログラムの紹介】
  - ・サロン型の体験ができ、大変よかった。
  - ・会の進め方が分かり、自分でもできると思った。

- 【グループ交流会について】
  - ・普段情報が入らない市外の方の話が聞けて、あっという間に時間が過ぎた。
  - ・現状の課題も共有できた。地域によって特色があり交流が盛り上がった。

- 【配付資料について】
  - ・今後の家庭教育学級の取組が大変参考になった。資料を活用していきたい。

- 【その他】
  - ・普段聞けない話がたくさん聞けた。自分の話したことが、他のところでも役に立つといいと思う。
  - ・市の担当と保育園等で、対象児が違いため、同じグループで話が合わない部分もあった。



# 中学校

令和元年5月15日(水) 13:30~16:00 恵那総合庁舎

## 実践発表 瑞浪市立瑞浪南中学校

- 【開催時期】 今の時期でよい 96%  
違う時期がよい 4%
- 【時間帯】 午前 10% 午後 59%  
どちらでも 27% その他 4%

- 【県の趣旨説明】
- 県の取組の動向や今日的課題から、求めているものが分かった。大変参考になった。

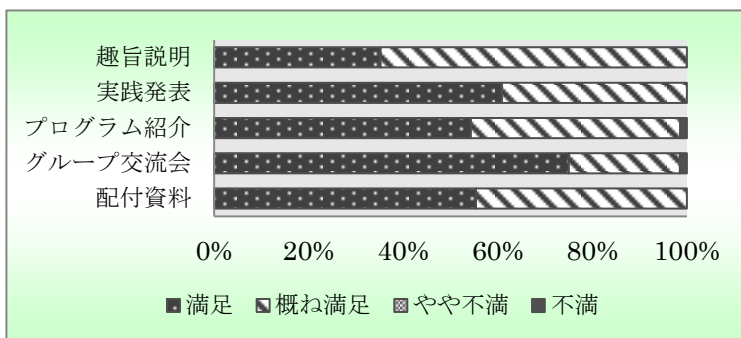
- 【実践発表】
- 親同士の交流を大切にしている良い話だった。
  - 親が仲良くなれば子どもにもよい影響を与えるという思いには、大変共感した。
  - 学校統合という節目を母親委員会の活動をもとによりよくしていこうというスタイルが素晴らしいと思った。
  - 公民館活動とタイアップして活動し、多くの方が参加できる。

- 【家庭教育プログラムの紹介】
- マニュアルがあるのは心強い。会を進める時に必要なことが学べた。
  - アイスブレイクにより関係を作るきっかけになる。取り入れたい。

- 【グループ交流会について】
- 他校の行事のやり方や役員の選出方法等、多くの情報を共有できた。
  - グループの組み方がよかった。交流内容が深まった。

- 【配付資料について】
- 進行例等とても助かる。持ち帰って使えるものがあることがよかった。

- 【その他】
- 学校規模が揃えてあり話しやすかった。交流時間はもう少し短くてもよかった。



# 小学校

令和元年5月28日(火) 9:30~12:00 東濃西部総合庁舎

## 実践発表 土岐市立妻木小学校

- 【開催時期】 今の時期でよい 95%  
違う時期がよい 5%
- 【時間帯】 午前 54% 午後 25%  
どちらでも 20% その他 1%

- 【県の趣旨説明】
- 家庭教育学級とは子どもと親が共に成長する場ということを再確認できた。

- 【実践発表】
- 親子の三行詩は、自校でもやりたいと思う。
  - 学校と家庭のつながりが強く、共通の話題から親子の絆が深まることは素敵だと思った。
  - 家庭教育学級の振り返りにおいて三行詩の活用は、一人一人の思いや考えが表現できとても有効だと思った。
  - 学校行事とのコラボは負担感なども軽減できると思った。

- 【家庭教育プログラムの紹介】
- サロン型の具体的な説明があり、今までにない学びがあった。

- 【グループ交流会】
- 参加者を集める工夫等、各校のアイデアがとても参考になった。

- 【配付資料】
- 必要な資料がコンパクトに収められ使いやすかった。

- 【その他】
- 年1回続けていくことで、役員が替わっても願いを伝えることができる。今後も継続してほしい。

